

夏期企画展

# 鑄造技術の考古学

東アジアにひろがる鑄物師のわざ



平成二十三年

八月二日(火)

九月四日(日)

午前九時～午後四時三〇分／入館は四時まで  
月曜休館／八月十四日(日)無料入館日

- 入館料 ▼ 一般二六〇円(一七〇円) 大学生一三〇円(六〇円)
- ( )内は二〇名以上の団体料金・高校生および十八歳未満は無料
- 交通 ▼ 近鉄橿原神宮前駅・飛鳥駅から「かめバス(周遊)」で「飛鳥資料館」下車
- 近鉄・JR桜井駅から石舞台行バスで「飛鳥資料館」下車
- 主催 ▼ 飛鳥資料館

飛鳥資料館

奈良県橿原市郡明日香村奥山6001  
電話・0744154135661  
<http://www.nabunken.go.jp/asuka/>



写真：青銅器の精造み 青銅器工房「青銅堂」にて PHOTO TAKA / PRESSURE ASAKA

平成二十三年度夏期企画展

# 鑄造技術の考古学

## ―東アジアにひろがる鑄物師のわざ―

金属を溶かし、鑄型に流し込むことによって所用の製品を作る技術を鑄造技術といえます。東アジアにおける鑄造技術は、いまから四千年以上前の中国で出現し、殷周時代の複雑な青銅器を作り上げるまでに発展します。やがてその技術は周辺の地域に伝わり、日本では奈良時代に巨大な東大寺盧舎那仏像を築きあげます。鑄物師たちの「わざ」の足跡をたどることにより、東アジアの鑄造技術の歴史が少しずつ見えてきました。

奈良文化財研究所では、これまでの六十年近くにわたる活動のなかで、飛鳥・奈良時代を中心とした数多くの鑄造遺跡の調査をおこなうとともに、梵鐘・鏡・銭貨などさまざまな金属製品にたいする研究に取り組んできました。また、飛鳥資料館でも「東アジア金属工芸史の研究」をテーマとした研究活動を実施しています。

本展では、東アジア史的な観点から鑄造技術の歴史の変遷をたどるとともに、奈文研の鑄造技術に関する調査研究を紹介します。

### 主な展示品

伝殷墟出土 青銅器鑄型 (泉屋博古館) \*写真1

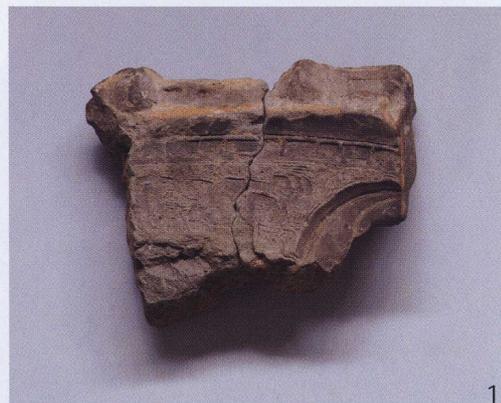
内蒙古赤峰採取 羽口 (京都大学総合博物館)

唐古・鍵遺跡出土 羽口・銅鐸鑄型・高坏形土製古品など (田原本町教育委員会) \*写真2

飛鳥池工房遺跡出土 羽口・鑄型・坩堝・砥石など (奈良文化財研究所)

川原寺寺域北限出土 羽口・鑄型・坩堝など (奈良文化財研究所) \*写真3

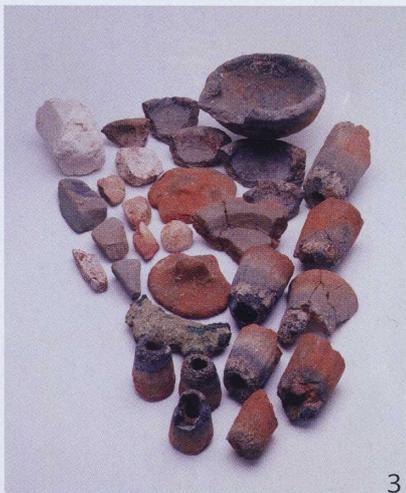
海獣葡萄鏡鑄造実験資料 (飛鳥資料館)



1



2



3

### ■ 展示期間

平成23年8月2日(火)から9月4日(日)  
月曜休館(8月14日(日)は無料入館日)

### ■ 時間

午前9時～午後4時半(入館は午後4時まで)

### ■ 料金

一般260円(170円) 大学生130円(60円)

高校生および18歳以下は無料

※( )は20名以上の団体

### ■ バス

近鉄 橿原神宮前駅飛鳥駅から「かめバス(周遊)」  
近鉄/JR 桜井駅から石舞台行飛鳥資料館下車  
近鉄八木駅から(土・日・祝日のみ)  
「橿原市コミュニティバス」で飛鳥資料館下車

### ■ レンタサイクル

近鉄橿原神宮前駅、飛鳥駅、桜井駅の各駅前

※無料駐車場普通車11台分有り



奈良文化財研究所

# 飛鳥資料館

奈良県高市郡明日香村奥山601  
電話0744-54-3561  
http://www.nabunken.jp/asuka